

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アルエット		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日		令和7年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	年 月 日		年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の情報共有を徹底していることです。月に1回の定例会議を開催し、利用者の状況や支援内容を共有することで、一貫した対応ができるよう努めています。必要に応じたミーティングを行うことで、小さな情報漏れを防ぐ工夫をしています。これにより、利用者の変化に迅速に対応できる体制を整え、質の高い支援を提供するとともに、職員同士の連携を深めています。	全職員が必要な情報を瞬時に把握できるよう、紙媒体を用いて情報を視覚化しています。掲示板等を活用し、更新された情報を即時に共有することで、重要な連絡事項や業務内容が一目で確認可能となり、迅速な対応や連携が実現できています。また、掲示内容は定期的に規定の書式へ整理を行ない、誰もが最新情報にすぐアクセスできる環境が整っています。	職員全体の迅速な情報取得と共有を促進し、業務効率向上を確実に図る。また定期的なフィードバックにより運用状況を評価し着実に改善策をさらに進める。
2	保護者からの声を積極的に吸い上げていることです。モニタリング時支援に対する要望や不安を丁寧に伺っています。また、日々の送迎時や連絡帳を通じて保護者と密にコミュニケーションを取り、小さな相談や気づきも大切にしています。こうした意見を職員間で共有し、支援内容の改善につなげることで、より安心できる環境づくりを目指しています。	日頃からの小さなコミュニケーションの積み重ねを大切にしています。職員と家族が気軽に意見交換や情報共有を行うことで、信頼関係を築き、迅速な対応や円滑な連携を実現しています。日常の何気ない会話やちょっとした相談が、支援の質向上に大きく寄与しており、全員がその重要性を強く認識しています。	引き続き家族との円滑なコミュニケーション充実のため、定期面談や連絡帳を活用して意見交換を行っています。家族の声を積極的に反映し、連携を強化することで、利用者に最適な支援環境と安心感を提供する取り組みを着実に進めています。
3	職員の資質向上への取り組みが必要であることを共通認識としてとらえ始めています。日々の業務の中でも、職員同士が支援方法について意見交換を行い、互いに学び合う姿勢を大切にしています。こうした取り組みにより、職員一人ひとりが自身の成長を意識しながら支援にあたり、より質の高いサービスの提供を目指す風土が醸成されています。	以前は医療的なケアが中心であったが、近年は利用者の生活の質向上を目指し、余暇活動や創作活動の充実に努めている。個々の興味や特性に合わせたプログラムを企画し、心身のリフレッシュや自己表現の場を提供する工夫が進められ、より豊かな支援環境が実現されつつある。	余暇活動や創作活動の充実の為、利用者一人ひとりの興味や特性を細かく把握し、多彩なプログラムや行事を企画します。心身のリフレッシュや自己表現の機会を増やし、より豊かな支援環境の実現に努めています。今後も利用者やご家族の声を反映し、プログラム内容の改善を着実に進めます。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

R7.4.1

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	4	1	
	②	職員の配置数は適切であるか	3	5	1	職員の力量に差がある為全体的にスキルの底上げが必要
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	2		
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	5	1	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	4		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	3	2	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	5	1	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	2	1	資質向上の為に取り組みはしているが意図や目的を明確にしていく必要性を感じる
適切な 支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	6		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	6	1	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	6		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	5		

提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	6		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	4	1	現状医療的なケアが中心になっている。療育にかける時間が少ない為課題が必要。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	4		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	2		会議等で次回に向けての課題をピックアップしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	2		職員同士で声をかけ合い漏れのないよう対応をしている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	3		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	4		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	4	1	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	2		
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	2		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3	3	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	4		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	4	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	6	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		4	5	

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解を持っているか	5	3	1	
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っているか	1	4	4	
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っているか	7	2		
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行ってい るか	3	5	1	
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 しているか		5	4	
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切 に対応しているか	7	2		
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信しているか	1	6	2	
	㉗	個人情報に十分注意しているか	8	1		
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしているか	7	2		
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っているか	1	6	2	
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者 に周知しているか	6	3		
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っているか	7	1		
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしているか	5	4		
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行う かについて、組織的に決定し、子どもや保護 者に事前に十分に説明し了解を得た上で、 放課後等デイサービス計画に記載している か	4	4	1	
	㉞	食物アレルギーのある子どもについて、医師 の指示書に基づく対応がされているか	8	1		

	④ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	2		
--	------------------------------	---	---	--	--

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

R7.4.1

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	2	1	○保険センター2Fと場所を取りかえたらどうでしょうか ○少し手狭 ○狭少である、近くの公園などの活用は良いと思うが、夏や冬や雨天に備えて十分なスペースを確保してほしい
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4	3	1	○職員の入れ替わりが激しい
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8			○施設が古く、後から改装されたため、障害児者の移動には適さない幅や動線が存在している
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	7	1		
	⑤	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	6	2		○職員の入れ替わりで不安定化している ○同じ内容をくり返すことも安心になる場合もあると思います
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	3	○不要 ○重心の子供達は自分で身を守ることができないので、活発な子供達との交流には不安があります ○不明
保護者 への 説明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	1		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	1		
	⑩	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	1		
	⑪	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	1		
	⑫	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	2		○不明 ○組織的に少し難しいのか？と思うことがある ○不明
	⑬	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8			○職員の方のお名前とお顔がすぐに覚えられないので年度始めなど紙1枚でいいので紹介いただけたら皆うれしいと思います
	⑭	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	2	○不明 ○日々連絡ノート等で個別にはお知らせいただいています
非常時 等の 対応	⑮	個人情報に十分注意しているか	6	2		
	⑯	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	1	1	○不明 ○作成されているか不明で存じません
	⑰	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	4		○不明 ○行われているか知りません ○帰宅困難時の備蓄など気になります
	⑱	子どもは通所を楽しみにしているか	6			

満足度	⑮ 事業所の支援に満足しているか	6		<p>中央区唯一の放デイなのでがんばってもらいたいです！ ○これからの利用で考えていきます・以前のように活動内容が充実し楽しく過ごし成長できる場になることを願っています ○スタッフの方々の対応や活動プログラムなどソフト面では大変よくして下さっている印象ですが、施設のサイズ等ハード面には大いに改善の余地を覚えます。区の更なる支援が必要だと考えます。</p>
-----	------------------	---	--	--

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。